

# めいトーク歴史文化講演会

～なぜか柴田勝家が出てこない  
桶狭間合戦の新説～

入場  
無料  
※要整理券



浮世絵「尾州桶狭間合戦」歌川豊宣画

1560年、尾張桶狭間(名古屋市緑区桶狭間から豊明市栄町の一帯)で織田信長が今川義元を討ち取った「桶狭間の戦い」。なぜ信長は勝てたのか、これまでにない新しい説が登場しており、この戦国ドラマの謎をその新説で解き明かしてみます。

日時

2018年4月28日(土)  
10:30～11:45 (予定)

場所

名東文化小劇場(地下鉄「上社」駅ビル3階)  
名古屋市名東区上社1-802 ☎052-726-0008

講師:水野誠志朗(歴史ライター)

守山市(現在の名古屋市守山区)生まれ。タウン雑誌などの編集を経て、出版編集・web制作などを行う株式会社デイズを設立。中日スポーツなどで10数年間に渡り自動車の試乗記を執筆する自動車ライターをしつつ、2012年に長年の取材をまとめた単行本「信長公記で追う桶狭間への道」を出版。尾張時代の若き信長をテーマに中日新聞プラスで連載しながら、講演、文化センター講師としても活動している。

●主催問合せ/公益財団法人名古屋市文化振興事業団[名東文化小劇場] 052-726-0008  
※入場整理券は名東文化小劇場にて配布(350席分なくなり次第終了)

愛知東邦大学は、メセナ・パートナーとして「めいトーク歴史文化講演会」を応援しています。